

第 49 回群馬脳卒中医療連携の会 本会議兼特別講演会 議事要旨

- ◇ 日 時 令和 8 年 1 月 24 日 (土) 14 : 00 ~ 16 : 00
- ◇ 形 式 対面開催
- ◇ 場 所 前橋赤十字病院 講堂
- ◇ 出席者 180 名 : 別紙参照
(計画管理病院、連携病院、医師会・行政・県内外医療機関・その他)
- ◇ 共 催 前橋赤十字病院・太田記念病院・公立館林厚生病院・桐生厚生総合病院
第一三共株式会社

開会挨拶を前橋協立病院院長補佐兼地域連携相談センター長の朝倉健代表世話人より行い、第一部の議事進行を桐生厚生総合病院の曲澤聡副院長、第一部閉会挨拶を太田記念病院の矢尾板裕之副院長よりいただいた。

また特別講演の議事進行を、前橋赤十字病院の清水立矢脳神経外科部長、第二部閉会挨拶を公立館林厚生病院の松本正弘院長よりいただいた。

1. 開会挨拶

本会代表世話人 前橋協立病院 院長補佐兼地域連携相談センター長 朝倉 健

本日は、貴重なお休みの中、多くの皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございます。この群馬脳卒中医療連携の会を毎年開催できていることを嬉しく思います。今回は、桐生厚生病院、太田記念病院、公立館林厚生病院、前橋赤十字病院で担当幹事として開催させていただいております。本会議後には懇親会も予定しておりますので、楽しんでいただければと思います。

脳卒中連携におきましては、地域連携クリニカルパスが 2008 年から始まり、その 1 年前の 2007 年より日赤での連携の会が始まったのでもうすぐ 20 年近くになります。多くの職種の皆様のご協力で何とか継続できていることは非常にありがたいことだと思っています。ここまで全県的に繋がりのある会は日本の中でもなかなかありません。本当に皆さんご協力の賜物だと感じております。

本日は、第二部に特別講演会があり、群馬大学医学部附属病院 脳神経外科の教授である大宅宗一先生からご講演をいただくことになっております。お忙しい中お越しいただき、大変感謝いたします。また、この会に関しては第一三協様にご支援いただいております。誠にありがとうございます。

皆様が来て良かったと思っていただけるような会にしていけるよう、これからも努力をして参りたいと思いますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。

2. 第一部

座 長 : 桐生厚生総合病院 副院長 曲澤 聡

(1) 連携病院報告 : 演題『当法人・関連施設の脳卒中後遺症に対する治療の紹介』

演者 : 角田病院 リハビリテーション科 課長 高草木 信太郎

病院概要や回復期リハビリ病棟の概要をはじめ、R5～R7年度（R7年は11月まで）の期間における院内脳卒中地域連携パスの受入れ状況、患者内訳や重症度別の実績指数やFIT利得と在院日数の変化などの分析結果について発表された。

また、法人はじめ関連施設で保険外でも提供しているリハビリテーションの内容や脳卒中に対する治療について、MIT-J、BMI等の紹介や特徴について実際の映像等を用いながら説明された。

<質疑応答>

Q1：BMIについて、やはり通常のリハビリと効果に違いがあるか？

A1：実際に指が動かないという患者さんが多くおり、通常のリハビリでは動きが出ないという方がこれを使用した後は動きが出てきた。継続したいとのお声も聞かれる。

Q2：リハビリ病院退院後の保険外のリハビリは有効だと感じているが、かなり需要はあるか？

A2：回復期退院後や年齢層の若い患者さんがもう少しリハビリを続けたい、リハビリ時間を長く続けたいとの希望をされることもあり、そうした方の需要は高いと思う。

(2) 第49回世話人会報告

報告者：前橋赤十字病院 地域連携課長 板倉 孝之

第49回世話人会は昨年12月2日（火）18時30分からWEBにて開催し、以下3点について協議等を行った。

① 本会議の内容について

→ 世話人内で協議を行い、本日の内容について決議された。

② 情報交換会の開催の有無について

→ 今回も開催する方向で決議された。昨年同様に本会議終了後、2階大会議室にて情報交換会を行うので、顔の見える連携を図っていただければと思う。

③ 連携病院報告について

→ 毎回1～2施設に依頼している連携病院報告について、これまで症例件数が通算10件を超える施設が発表対象となっている。ただ、通算なので例えば10年前に10件を超えているが最近では症例のないという施設も対象となり、このような施設からは何を話せばよいのかと問い合わせをいただくことがある。そのため、この「通算10症例を超える施設が対象」という条件をなくし、「全ての連携病院を対象」として、症例がない施設等は、せっかくの機会なので自院の紹介をいただきたい。なお、順番については資料の医療機関順を固定し上から順に報告してもらう。

(3) 次回当番病院挨拶

群馬大学医学部附属病院 脳神経外科准教授 藍原 正憲

急遽欠席となってしまったため割愛となった。

(4) 第一部閉会挨拶

太田記念病院 副院長 矢尾板 裕之

3. 第二部

(1) 特別講演

座 長：前橋赤十字病院 脳神経外科部長 清水 立矢

演 題：『脳卒中治療に関する最近の話題と群馬県両立支援調査 2025 について』

演 者：群馬大学医学部附属病院 脳神経外科教授 大宅 宗一 先生

群馬大学医学部附属病院脳神経外科教授の大宅宗一先生をお招きし、脳卒中治療に関する最近の話題と群馬県両立支援調査 2025 についての貴重なご講演をいただいた。

(2) 第二部閉会挨拶

公立館林厚生病院 院長 松本 正弘